

三五一五番

我が面の 忘れむしだは 国溢り 嶺に立つ雲を  
見つつ偲はせ

三五一六番

対馬の嶺は 下雲あらなふ 可牟の嶺に たなび  
く雲を 見つつ偲はも

三五一七番

白雲の 絶えにし妹を あげせろと 心に乗り  
て ここばかなしけ

三五一八番

岩の上に いかかる雲の かのまづく 人そおた  
はふ いざ寝しめとら